

東尾道駅無人化撤回・エレベーターの設置を 東尾道駅の利用者・地域住民に丁寧な説明を求める



JR西日本は、福山市議団、大平前衆議院議員、三浦尾道市議と交渉の中で、東尾道駅の一日あたりの利用者が3000人を超えており、利用者が3000人を超えており、現在エレベーター設置について福山市と交渉中であること。JR側からも明らかになりました。三浦市議は「東尾道駅にもエレベーターの設置」を求めましたが、「東尾道駅にエレベーターの設置については尾道市と協議していない」との返答がありました。

JR西日本は、福山市議団、大平前衆議院議員、三浦尾道市議と交渉の中で、東尾道駅の一日あたりの利用者が3000人を超えており、利用者が3000人を超えており、現在エレベーター設置について福山市と交渉中であること。JR側からも明らかになりました。三浦市議は「東尾道駅にもエレベーターの設置」を求めましたが、「東尾道駅にエレベーターの設置については尾道市と協議していない」との返答がありました。

市教委が「現状」として説明した数値

	平成30年 6月	令和元年 6月	令和元年 12月
子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教員	66.2%	68.9%	72.6%
時間外勤務が月80時間を超える教員	16.2%	7.2%	4.7%

「図書館の先生の抜本的増員を! —文教委員協議会で岡野長寿市議が提案—」

2月6日文教委員会は協議会を開催し、「学校における働き方改革取り組み方針」と「通学路交通安全プログラムの進捗」について説明を受け、質疑を行いました。岡野市議は、事務職員を市費で配置したこと等を評価しましたが、部活動指導員について説明を受け、質疑を行いました。

書が本来の職務を果たせないと、各学校に専任の「図書館の先生」がいなければ、これから子供たちの学習を支援することにはならないと、予算化を強く要望しました。なお、上の表は教員の多忙化が、ドリルや漢字ノートなど先生が家に持ち帰つて示されたものであります。この疑念もあり、先生が家に持ち帰つて示されるもののが増えています。

東尾道駅は1日の利用者3000人超え。エレベーターの設置条件を満たしてい

る。エレベーターの設置を求める。三浦市議は、先週お伝えしたJR西日本との駅の無人化計画の撤回を求める交渉の中で明らかになった「エレベーターの設置要求」と「障がい者の車椅子の利便性の向上」をJR西日本に求めました。

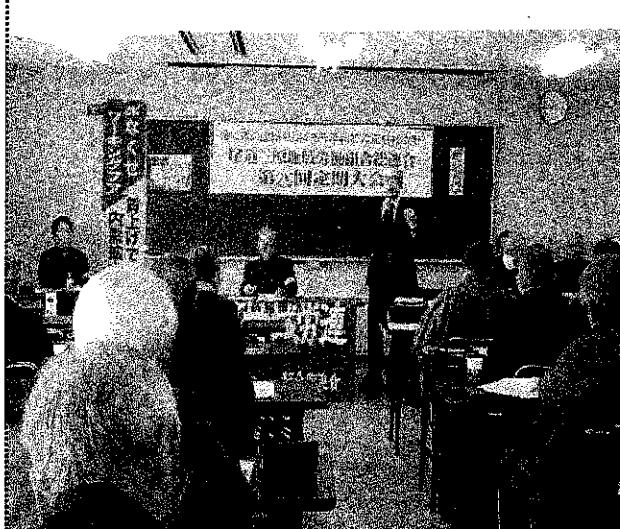


日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

2月9日(日)に尾道市総合福祉センターで尾道三原地域労働組合総連合の第25回定期総会が行われ、三浦市議も参加いたしました。三浦市議はあいさつの中で「消費税増税に伴うポイント還元で電

子マネーが多く使われている。電子マネーを使える人とそうでない人で格差が広がっている。本来還元が必要な人に還元されていない」と指摘して、連帯してアベ政権を退陣に追い込もうと呼びかけました。また、来賓の方々から「消費税増税後生活が苦しくなっている」「多くの零細企業、商店が廃業に追い込まれている」「ワーキングプアの改善」「生活保護費の引き上げを」と訴え、今年こそアベ政権を退陣に追い込むと連帯の挨拶を行いました。

尾三地域労連第25回定期総会 最低賃金1500円で暮らしの改善を



引き続いて広島県労連の門田議長より「最近の情勢と労働組合の果たす役割」についての提案の中で「2020春闘。大幅賃上げと最賃1500円で暮らしの改善」をテーマに最低賃金の計算の仕方にについての学習をして、最低賃金1500円を目指に春闘を開いていくことを確認しました。